

# 北海道師範塾 「教師の道」 塾頭通信

第746号 平成26年6月3日

## 人は何故、かくも易々と騙されるのでしょうか？（1）

北海道警察の発表によると、平成25年度における「オレオレ詐欺」等の特殊詐欺事件の認知件数は217件、また、その被害金額は約9億円となっており（詳細は、下表の通り）、その多さに驚くばかりです。

この特殊詐欺事件は北海道のみならず全国的にも増加傾向にあり、大変遺憾に思っていますが、同時に、ほとんど毎日のように詐欺事件が報道されているにもかかわらず、騙される人が後を絶たないというのは何故なのだろうと、不思議でなりません。

平成25年度特殊詐欺の認知件数及び被害額

詐欺の種類	認知件数	被害金額(千円)
振り込め詐欺	135	219,990
オレオレ詐欺	24	37,400
架空請求詐欺	52	120,868
融資保証金詐欺	28	38,339
還付金詐欺	31	23,383
金融商品等の取引を名目とした詐欺	45	448,027
異性交際斡旋を名目とした詐欺	1	12
ギャンブル必勝法等の情報提供を名目とした詐欺	21	107,806
その他	15	105,950
合計	217	881,785

北海道警察のホームページから作成

さて、一口に特殊詐欺といっても、その形態は様々です。「オレオレ」と騙してお金を振り込ませるといったいわゆる「振り込め詐欺」の他、

「金融商品等の取引を名目とした詐欺」

「異性交際斡旋を名目とした詐欺」

「ギャンブル必勝法等の情報提供を名目とした詐欺」

と様々な形態があります。

また、「振り込め詐欺」には、「オレオレ詐欺」の他に「架空請求詐欺」、「融資保証金詐欺」、「還付金詐欺」といったものがあります。

坂口孝則氏はその著「営業と詐欺のあいだ」の中で、この世の中には「お金を奪う人」と「お金を奪われる人」という2種類の人間がいると述べていますが、上記の表を見ると、全くその通りだと改めて感じます。

また、坂口氏は、衣食住、娯楽から情報にいたるまで、すべてお金の換算される現代にあっては、他者からお金を奪うこと、奪われることは、生きていく上でどう

せん。

もっとも、自分は大丈夫だと自信を持っている人こそ詐欺に引っかかり易いという事ですから、私も被害者にならない保証はないのですが…。

しても必要なことだと述べています（同氏著「営業と詐欺のあいだ」から）。

「お金を奪う、奪われる」といっても、それは物やサービスを売ってお金を儲け、物やサービスを買ってお金を払うという事ですから、至極当たり前の経済活動に過ぎませんが、そうした中で、誰にでも自分だけが他の人より少しでも儲けたい、得したいという気持ちが働くのは止めようがありません。その得をしたい気持ちが、良い商品を沢山売ってお金を儲けたいというように良い方向に働いた人は一流のセールスマンになり、相手を騙してでも儲けたい、儲けるためには何をしてもかまわないと考える人は詐欺師になるという事だと思えます。

こうしてみれば、一流のセールスマンと詐欺師とは紙一重の違いの様に感じられますが、それだけに、私達は詐欺師の魔の手から如何に身を護るか真剣に考えなければなりません。（塾頭：吉田 洋一）